

2015年7月30日
株式会社はとバス
ユーシーカード株式会社

～訪日外国人向けサービス～

「多通貨決済サービス（DCC）」の取扱いを開始

2015年7月、観光バスをはじめとした各種事業へ導入済

株式会社はとバス（以下、はとバス／本社：東京都大田区／代表取締役社長：中村 靖）は、みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社（以下、UCカード／本社：東京都港区／代表取締役社長：樋口 一成）と提携し、海外のカードホルダーがカード決済時に自国通貨を選択できる「多通貨決済サービス（DCC：Dynamic Currency Conversion）」の取扱いを開始いたしました。

はとバスは、訪日外国人の方にさらに認知され、利用されるよう、インバウンド対応に力を注いでおります。従前より、英語ガイドや中国語ガイドが同行するバスツアーを提供する他、料金支払いの際に銀聯カードを取り扱えるようにする等、訪日外国人向けのサービスを充実させてまいりました。このようなサービス展開のもと、2014年度の東京観光における、はとバスの訪日外国人向けコース利用者は、前年比123%となる8万人超えを達成し、順調に増え続けております。また、東京オリンピック・パラリンピック開催（2020年）決定、ビザの大幅緩和、消費税免税制度の拡充、円安傾向等の好影響を受け、訪日外国人数は今後更に増える見込まれます。

こうした背景のもと、はとバスは、都内・近郊定期観光バス等の旅行業、銀座キャピタルホテルの宿泊等のホテル業において、DCC決済を導入し、より一層訪日外国人の利便性向上を図ることといたしました。

UCカードは2009年に日本で初めてDCCビジネスに参入し、国内DCCアクワイアラとして最大の30種類の通貨対応、また、日本で唯一となる2ndプロセッサの採用により、複数種類の端末を供給できる体制を整え、業界を先導しています。さらに、機能面にとどまらず、外国人向けのサービスガイドを複数言語で作成する等、加盟店さまにとっても、カードホルダーの方にとっても、DCCが使いやすいものになるよう、長年のノウハウを活かし、常にサービス向上に取り組んでおります。

■導入済店舗

- ・はとバス
東京営業所 / 新宿営業所 / 池袋営業所 / 浜松町総合センター
- ・銀座キャピタルホテル
本館 / 新館

■DCC とは

DCC とは、海外でカード決済を行った際、「現地通貨」と「カードホルダーの自国通貨」の内、どちらで決済するかを選択できるサービスです。通常、訪日外国人のお客さまが自国（海外）で発行されたクレジットカードを日本で利用する場合、ご利用時には円建てで決済します。その後、カード発行会社が定める為替レートにて自国通貨へ換算された決済額がお客さまに通知され、利用額を支払います。DCC に対応したクレジットカード決済端末を使用すると、カードご利用時に自国通貨での支払金額がお客さまへ提示され、通常通りの円建て決済と、自国通貨決済の内、どちらかを選択できるようになります。自国通貨決済を選んだ場合、為替レートの変動リスクを心配することなく、安心して決済いただけることが特徴です。

《はとバスにおける、DCC の取扱い通貨》（29 通貨）

アメリカ合衆国（ドル）	欧州連合（ユーロ）	オーストラリア（ドル）
台湾（ドル）	香港（ドル）	シンガポール（ドル）
タイ（バーツ）	韓国（ドル）	中国（人民元）
マカオ（パタカ）	マレーシア（リンギット）	フィリピン（ペソ）
インドネシア（ルピア）	ベトナム（ドン）	インド（ルピー）
スリランカ（ルピー）	カナダ（ドル）	アルゼンチン（ペソ）
ブラジル（リアル）	イギリス（ポンド）	スイス（フラン）
デンマーク（クローネ）	ノルウェー（クローネ）	スウェーデン（クローナ）
ロシア（ルーブル）	サウジアラビア（リヤル）	UAE（ディルハム）
カタール（リヤル）	ニュージーランド（ドル）	南アフリカ共和国（ランド）

※韓国は米ドル建てで為替対応を行います